

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	7	事例№	4	依頼者	青山製作所(株)	実施場所	美浜町千鳥ヶ浜海岸
実施対象	青山製作所社員とその家族（大人 16 名、小学生 15 名、未就学児 5 名）						
実施日時	令和元年 9 月 22 日（日）9 時 45 分～11 時 00 分（1 時間 15 分）						
テーマ	ウミガメが大好きな砂浜（ウミガメと海岸漂着ごみについて）						

●依頼内容

社員とその家族（主に小学生）が参加して、内海の海岸で清掃活動を行う。その際、自然との共生や環境問題を再認識し、環境に対する意識高揚を図りたいと考えている。こうした社内イベントで環境問題に関する話のできる講師を紹介してほしい。

●講師：大須賀哲夫氏（環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員）

豊橋市表浜[太平洋側の海岸]でウミガメの実態調査を長く続けられている。豊橋市教育委員会より委託を受け新任の先生方に対する環境教育の講師を平成 10 年より 20 年間され、豊橋市アカウミガメ実態調査員として平成 4 年より調査・啓発活動を推進されている。大須賀氏は、海岸への漂着ごみの実態や産卵するために海岸に上陸するウミガメの生態に詳しく、参加する子どもたちに対しても興味深い話をしていただけると判断し、今回の講師として推薦した。

●授業の内容

座学	講師の紹介等	講師の自己紹介の後、世界的に問題となっているプラスチック問題についての紹介と、本日の講座の概要の説明が行われた。	5分
	ウミガメの生態特性と海岸のごみについて	ウミガメの生態の特性と海岸のごみ問題についての説明が行われた。 ・産卵のためにウミガメが上陸する海岸の特性について（ごみの無いきれいな海岸であることを紹介）。 ・産卵時のウミガメの特性について（産卵後の足跡の軌跡やコガメ等を写真で紹介） ・ごみの生態系への影響や海岸の清掃活動について（ごみの誤食や釣り糸に絡まった子ガメの様子を紹介、ウミガメの産卵環境保全のために行われている小学生や高齢者による清掃活動等の紹介）	25分
活動	海岸での清掃活動	清掃活動に先立って、青山製作所の担当者から注意事項の説明があった。 ・ごみは、可燃物と不燃物を分別して回収すること。 ・回収活動の時間とエリアの説明。 講師も参加家族と会話をしながら清掃活動を行った。	45分

●授業の様子

・講座は砂浜を会場に行われた。参加者は砂浜の一角に講師を取り囲むように座り、講師はカラー写真や図面を A3 サイズに拡大した資料を紙芝居のように見せながら講義を進めた。子どもたちはウミガメの産卵前後の足跡の違いや、間違っでごみ袋を食べてしまうといった話を興味深そうに聞いていた。

・清掃活動は、海岸の広い範囲を移動しながら行われた。講師も家族と会話しながら、ごみの回収に参加した。海岸に来ていたサーファーや砂浜で遊んでいた人たちが作業の様子を見てごみの回収に参加、協力して下さり、その結果 10 袋ほどのごみを回収することができた。

講座の様子



海岸での清掃活動の様子

